

- 問1 岡山県と香川県を陸路で結ぶ瀬戸大橋が完成したあと、周辺地域の交通機関に現れた具体的な影響について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 陸上交通の利便性が向上した結果、それまで重要な役割を果たしていたフェリー航路の廃止や減便が生じた。

2. トラック輸送のコストが上昇したため、瀬戸内海を通る貨物船の利用が以前よりも増加した。

3. 瀬戸大橋は鉄道専用の橋として建設されたため、自家用車による本州と四国の往来は不可能になった。

4. 四国から本州への移動に時間がかかるようになったため、本州側にある主要都市への通勤が困難になった。
- 問2 山口県の工業統計において、製造品出荷額等が約1兆6000億円に達し、輸送用機械や金属製品といった他の部門を大きく引き離して県内で最も高い割合を占めている工業部門はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 繊維工業

2. 化学工業

3. 食品工業

4. 鉄鋼業
- 問3 香川県の北部に位置し、本州四国連絡橋の一つである瀬戸大橋を通じて岡山県倉敷市と結ばれている都市があります。四国の玄関口として本州との間で人やものの移動が盛んなこの県庁所在地の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 松山市

2. 高松市

3. 徳島市

4. 高知市
- 問4 1980年代の本州と四国の境界付近では、鉄道が港まで延びて連絡船に接続していましたが、1990年代後半になると瀬戸大橋（瀬戸中央自動車道）が南北を貫通し、かつて港へ向かっていた特定の鉄道線路が消滅しています。このような変化が起きた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 本州と四国の間での物流を強化するため、これまで利用されていた高速道路を廃止し、より大量輸送が可能なフェリーへの切り替えが行われたから。

2. 瀬戸大橋の開通後、海運の重要性が再評価されたことで、港の機能を強化するために「坂出港駅」のような臨海鉄道の駅が新設されたから。

3. 自動車の通行量が増加して一般道路が混雑したため、交通を分散させる目的で、鉄道連絡船の運航頻度を大幅に増やして港の駅を拡張したから。

4. 高速道路が開通して本州と四国が陸路で結ばれたことにより、それまで鉄道連絡船との接続を担っていた鉄道路線が役割を終えて廃止されたから。
- 問5 2021年の統計において、みかんの収穫量が全国第2位（約12.78万t）であり、四国地方に位置する愛媛県の県庁所在地として正しい名称を選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 高知市

2. 松山市

3. 徳島市

4. 高松市
- 問6 日本の諸地域における産業や伝統をまとめた資料において、本州の最も西側に位置し、伝統工芸品として「赤間すずり」が記載されている県がある。この県の瀬戸内海沿岸で発達している工業の特色として、正しいものはどれか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 古くから織物業が盛んだった背景を活かし、現在は高級な絹織物や繊維製品の生産に特化している。

2. 大規模な平野が広がっているため、広大な土地を必要とする自動車の組み立て工場が集中している。

3. 臨海部の埋立地を中心に、石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が盛んである。

4. 豊かな水資源と安価な電力を利用したアルミニウムの精錬や、製紙業が発展している。
- 問7 岡山県から山口県にかけての瀬戸内海沿岸部における工業の特色について、正しい説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 情報通信技術（ICT）を活用したソフトウェア開発や、バイオテクノロジーなどの先端産業が生産の中心となっている

2. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で軽量の集積回路（IC）を製造する「シリコンアイランド」が形成されている

3. 自動車の組み立て工場が内陸部の広大な土地に集中し、日本最大の工業生産額を誇る工業地帯となっている

4. 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている
- 問8 日本の諸地域のうち、四国地方の都市とその特徴について述べた文として、高松市の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。

2. 四国地方で最大の人口を抱え、古くからの温泉や城下町としての歴史を持つ愛媛県の県庁所在地である。

3. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、野菜の促成栽培が盛んに行われている高知県の県庁所在地である。

4. 明石海峡大橋を通じて兵庫県と結ばれており、四国東部の交通の拠点となっている徳島県の県庁所在地である。
- 問9 統計資料において、第2次産業の割合が約15パーセント、人口密度が1平方キロメートルあたり約630人と示される岡山県には、日本を代表する重化学工業の拠点があります。この拠点の名称と立地する市の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 周南コンビナートー 周南市

2. 鹿島コンビナートー 神栖市

3. 四日市コンビナートー 四日市市

4. 水島コンビナートー 倉敷市
- 問10 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選択してください。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 明石海峡ルート

2. 神戸・鳴門ルート

3. 児島・坂出ルート

4. 尾道・今治ルート
- 問11 中国・四国地方の地域区分において、山陰と瀬戸内では気候の特色が大きく異なります。その理由と特色の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. 山陰は暖流である黒潮の影響を受けて年間を通じて温暖であり、瀬戸内は標高の高い山々に囲まれているため冬の寒さが非常に厳しい。

2. 山陰は夏に太平洋側からの湿った空気が直接流れ込むため雨が多く、瀬戸内は季節風が山地を越える際に発生する乾いた風の影響で常に乾燥している。

3. 山陰は季節風を遮る山地がないため一年中風が強く、瀬戸内は対馬海流が流れ込むため夏は非常に高温多湿で降水量が多い。

4. 山陰は冬に北西からの季節風の影響で雪や雨が多くなり、瀬戸内は中国山地と四国山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少ない。
- 問12 島根県において、2007年や2013年に観光客総数が大きく跳ね上がり、年間3000万人を超えるピークを記録しました。このような観光客の急増をもたらした歴史的・文化的な背景として最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
1. 県内全域で高速道路が一度に全線開通し、物流の拠点となったこと

2. 大規模な工業団地が沿岸部に整備され、県外からのビジネス客が急増したこと

3. 石見銀山の世界遺産登録や、出雲大社での遷宮が行われたこと

4. 県内居住者の移動を促進するために、県主導で大規模なレジャー施設が次々と建設されたこと

答え合わせ・解説

問1	答え 1 陸上交通の利便性が向上した結果、それまで重要な役割を果たしていたフェリー航路の廃止や減便が生じた。	瀬戸大橋の開通によって、人や物の流れが船舶から自動車や鉄道へと大きくシフトしました。24時間いつでも短時間で往来できる陸路が普及した反面、それまで輸送の主役であったフェリーは利用者が激減し、多くの航路が廃止や減便に追い込まれるという、地域の交通網における構造的な変化が起こりました。
問2	答え 2 化学工業	山口県は瀬戸内海沿岸に位置しており、周南市や岩国市などの臨海部に大規模な石油化学コンビナートが形成されています。そのため、県全体の製造品出荷額において化学工業が占める割合が非常に高く、全国的にも上位に位置するという特徴があります。
問3	答え 2 高松市	香川県の県庁所在地である高松市は、瀬戸内海に面した交通の要所です。1988年に開通した瀬戸大橋（児島・坂出ルート）により、対岸の岡山県と鉄道・道路の両方で直接結ばれるようになりました。これにより、四国地方における物流や経済の拠点としての役割がより強固なものとなっています。
問4	答え 4 高速道路が開通して本州と四国が陸路で結ばれたことにより、それまで鉄道連絡船との接続を担っていた鉄道路線が役割を終えて廃止されたから。	1988年の瀬戸大橋（瀬戸中央自動車道）の開通などにより、本州と四国の間の交通手段は、鉄道連絡船を介した移動から、高速道路を利用した自動車や直通列車による陸上交通へと大きく変化しました。この結果、坂出港駅付近のように、かつての連絡船との接続を主目的としていた一部の鉄道路線はその役割を失い、廃止されることとなりました。これは交通網の整備が地域のインフラ構造を劇的に変えた一例です。
問5	答え 2 松山市	愛媛県はみかんの栽培が非常に盛んな地域として知られており、2021年の統計では全国1位の和歌山県に次ぐ第2位の収穫量を記録しています。四国地方の各県の県庁所在地は、香川県が高松市、高知県が高知市、徳島県が徳島市、そして愛媛県が松山市です。愛媛県の松山市は、瀬戸内海に面した気候を活かした果樹栽培が特徴です。
問6	答え 3 臨海部の埋立地を中心に、石油化学コンビナートが形成され、重化学工業が盛んである。	赤間すずりが伝統工芸品として知られる山口県は、瀬戸内工業地域の一部を担っています。山口県の瀬戸内海沿岸部（周南市や岩国市など）は、大型船が接岸しやすい良好な港湾環境を活かし、輸入した原油を精製・加工する石油化学工業などの基礎素材産業が大きく発展しました。
問7	答え 4 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている	瀬戸内海沿岸の臨海部では、輸入した原油を精製する工場と、その製品を原料として加工する工場などが集まる「石油化学コンビナート」が多く見られます。これは瀬戸内工業地域の大きな特徴です。シリコンアイランドは九州、日本最大の工業生産額は中京工業地帯の説明であり、瀬戸内工業地域は重化学工業が盛んな地域として知られています。
問8	答え 1 本州の岡山県と橋で結ばれており、交通網の整備によって人やものの移動が活発な香川県の県庁所在地である。	高松市は瀬戸大橋を通じて岡山県とつながっており、四国のなかでも特に本州との結びつきが強い都市です。他の選択肢はそれぞれ徳島市、松山市、高知市の特徴を述べています。四国地方の学習では、これら4つの県庁所在地の位置関係と、本州とのつながり方（ルート）の違いを理解しておくことが重要です。
問9	答え 4 水島コンビナート ― 倉敷市	岡山県の人口密度や産業構造のデータから読み取れる通り、同県は製造業が盛んな地域です。特に倉敷市の水島地区は、広大な土地と大型船が接岸できる港湾機能を活かし、石油精製や鉄鋼生産を行う「水島コンビナート」として全国的に知られています。
問10	答え 4 尾道・今治ルート	広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が通行できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。
問11	答え 4 山陰は冬に北西からの季節風の影響で雪や雨が多くなり、瀬戸内は中国山地と四国山地に挟まれているため年間を通じて降水量が少ない。	日本の気候は山脈の配置に強く影響を受けます。冬には湿った北西の季節風が中国山地にぶつかると、日本海側の山陰に雪や雨をもたらします。一方、瀬戸内は北側の中国山地と南側の四国山地によって季節風による水蒸気が遮られるため、年間を通じて晴天が多く、降水量が少ない温暖な気候が保たれます。
問12	答え 3 石見銀山の世界遺産登録や、出雲大社での遷宮が行われたこと	島根県の観光客数は、特定の歴史的・文化的イベントに大きく影響される傾向があります。2007年には「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産に登録され、2013年には出雲大社で約60年ぶりとなる本殿の修造などを行う「平成の大遷宮」が完了しました。これらの出来事はメディアでも大きく取り上げられ、全国から観光客を呼び寄せる強力な要因となりました。